



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,235	△7.4	652	△5.9	690	7.5	418	9.9
24年3月期第2四半期	4,573	4.9	692	△13.0	642	△12.5	380	61.0

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 358百万円 (1.0%) 24年3月期第2四半期 355百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	31.31	—
24年3月期第2四半期	27.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	26,833		14,208		45.8
24年3月期	27,088		13,943		44.4

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 12,285百万円 24年3月期 12,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,030	△2.1	1,420	△6.3	1,395	△9.5	769	40.8	57.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	14,000,000 株	24年3月期	14,000,000 株
25年3月期2Q	648,240 株	24年3月期	648,240 株
25年3月期2Q	13,351,760 株	24年3月期2Q	13,640,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復の兆しはあるものの、欧州の財政金融不安や米国の経済回復の遅れから海外経済の減速、それによる長引く円高や株安基調が続き、景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。そのような中で、わが国の失業率に改善傾向がみられたものの、個人消費や企業の設備投資は引き続き低調に推移しております。当社グループにおける事業環境は、原糸販売の主な市場である北陸地区の業績不振や百貨店販売の不振の影響などを受けて、一部に円高の恩恵があるものの厳しい状況が続いております。

① 繊維事業

原糸販売は、長期化する円高により大手アパレルの織物生産の海外移転が進み、4月以降取引先が集積する北陸地区の大幅な市況悪化の影響を受けるなど、産業用広幅織物向けレーヨンフィラメント糸は比較的好調に推移したものの、特に7月以降主力の輸入ポリエステル糸の販売量が減少し、僅かな減収、減益となりました。

アパレル関係は、震災からの復興ムードの影響などから、法人ユニフォーム、スポーツ関連商品、販促用ノベルティ商品など売上は堅調に推移いたしましたが、昨年あった百貨店関係からの大口受注が無く減収となり、利益面でも最終ユーザーに直接販売する直需先の増加を推進しましたが僅かな減益となりました。

カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ(桂由美)」ブランドを直接販売していく百貨店数が50店舗を超えて増加した効果が現れ、百貨店販売は増収となりましたが、その他のOEM受注が落ち込み全体では減収となり、利益面では百貨店の出店費用と販売員経費が嵩んで、営業損失が僅かに増加しました。

刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、刺繍レースファッションの活発化による刺繍使い商品の企画販売が増えて増収となり、商品の粗利率の改善や経費削減に取り組み営業損失は縮小しました。

この結果、繊維事業の売上高は18億57百万円(前年同期比11.1%減)となり、営業利益は20百万円減少して19百万円の損失となりました。

② 商業施設賃貸事業

「イオンモール川口前川(旧称 川口キャラ)」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価されるなど、売上高は、震災前の状態にほぼ戻りました。賃料収入面においては、引続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は11億46百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は5億69百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、昨年に影響のあった震災による計画停電や自粛ムードも収まり、引続きゴルフ子供教室の人気に見られるように若年層の入場者は増加傾向が続いたものの、長引いた猛暑や近隣同業者のリニューアルオープンもあって、全体の入場者、売上高ともに前期に比べて減少し、節電などの経費削減に努めたものの大幅な減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は4億85百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益は62百万円(前年同期比26.1%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、少子化・免許離れなどで減少していた入校生が徐々に増加したものの、教習期間の長期化傾向が進み、減収減益となりました。

当社のギフト事業部営業課の慶弔ギフト品販売は、長引くデフレ経済を背景に社会不安による儉約や節約意識が続き、施行規模の小口化や家族葬が増えて施行数は増加したものの売上、利益ともに減少いたしました。ディアグリーン課の緑化事業も、同様の背景から主力の観葉植物のレンタル事業の拡販が伸びず併せて大口レンタル先の経費削減の影響で減益となりました。

自動車板金塗装修理事業は、トヨタ生産方式の生産性向上や自社見積もり件数の増加により僅かな増収、増益となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般先の工事の増加に努めましたが、震災関連の工事減少により僅かな減収となり、利益面では一般工事の粗利益率を向上させて増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は7億44百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益は48百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

以上の結果、当社グループ売上高は、42億35百万円(前年同期比7.4%減)、営業利益は6億52百万円(前年同期比5.9%減)、経常利益は6億90百万円(前年同期比7.5%増)、四半期純利益は、4億18百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

総資産は、現金及び預金やたな卸資産が増加した一方、有形固定資産の減価償却が進んだこと等により、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少して268億33百万円となりました。

負債は、未払法人税等が減少したことや長期借入金の定期返済等により、前連結会計年度末に比べ5億21百万円減少して126億24百万円となりました。純資産は、前事業年度末の配当金の支払いがあったものの、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加して142億8百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加して29億67百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ8億50百万円減少して4億88百万円となりました。これは主に法人税等の支払額の増加等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億29百万円減少して91百万円となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出が増加した一方、有形固定資産の取得による支出の減少、投資有価証券の売却による収入の増加等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億4百万円減少して2億31百万円となりました。これは主に短期借入金の正味の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月17日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,281,084	3,390,018
受取手形及び売掛金	969,104	876,687
有価証券	759,756	798,426
商品及び製品	530,377	650,424
仕掛品	14,931	15,251
原材料及び貯蔵品	48,580	50,919
その他	450,607	355,730
貸倒引当金	△757	△746
流動資産合計	6,053,687	6,136,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,885,293	10,648,559
土地	5,352,553	5,352,553
その他(純額)	77,301	65,500
有形固定資産合計	16,315,149	16,066,613
無形固定資産		
投資その他の資産	98,547	67,543
投資その他の資産		
投資有価証券	4,145,344	4,050,604
その他	503,828	539,461
貸倒引当金	△28,129	△27,840
投資その他の資産合計	4,621,043	4,562,225
固定資産合計	21,034,739	20,696,382
資産合計	27,088,426	26,833,094

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	457,670	469,247
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	594,440	204,459
賞与引当金	76,157	77,855
役員賞与引当金	6,200	2,925
その他	1,556,453	1,568,258
流動負債合計	2,900,921	2,532,744
固定負債		
長期借入金	1,015,000	910,000
退職給付引当金	200,375	208,707
役員退職慰労引当金	185,315	171,268
長期預り保証金	8,417,894	8,439,377
その他	425,724	362,121
固定負債合計	10,244,310	10,091,474
負債合計	13,145,231	12,624,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	861,395	861,395
利益剰余金	10,076,699	10,403,809
自己株式	△359,818	△359,818
株主資本合計	11,980,276	12,307,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,763	7,996
繰延ヘッジ損益	△32,762	△29,782
その他の包括利益累計額合計	57,001	△21,785
新株予約権	25,495	26,235
少数株主持分	1,880,422	1,897,038
純資産合計	13,943,195	14,208,875
負債純資産合計	27,088,426	26,833,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,573,181	4,235,042
売上原価	3,148,481	2,823,247
売上総利益	1,424,699	1,411,795
販売費及び一般管理費	732,067	759,736
営業利益	692,632	652,058
営業外収益		
受取利息	8,123	11,573
受取配当金	34,500	34,022
持分法による投資利益	—	36,892
その他	48,687	26,141
営業外収益合計	91,312	108,630
営業外費用		
支払利息	56,019	49,519
持分法による投資損失	14,408	—
有価証券運用損	49,971	15,449
その他	21,379	5,482
営業外費用合計	141,778	70,451
経常利益	642,166	690,237
特別利益		
固定資産売却益	47,241	—
投資有価証券売却益	—	3,000
特別利益合計	47,241	3,000
特別損失		
投資有価証券評価損	349	—
投資有価証券売却損	—	10,936
特別損失合計	349	10,936
税金等調整前四半期純利益	689,058	682,301
法人税、住民税及び事業税	323,483	207,445
法人税等調整額	△33,868	34,705
法人税等合計	289,614	242,151
少数株主損益調整前四半期純利益	399,443	440,149
少数株主利益	18,990	22,114
四半期純利益	380,453	418,034

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	399,443	440,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,658	△77,831
繰延ヘッジ損益	845	2,980
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,358	△6,341
その他の包括利益合計	△44,171	△81,192
四半期包括利益	355,272	358,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337,446	339,247
少数株主に係る四半期包括利益	17,825	19,708

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	689,058	682,301
減価償却費	391,056	364,924
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,784	△300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,175	1,698
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,100	△3,275
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,477	8,332
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,319	△14,047
受取利息及び受取配当金	△42,624	△45,596
支払利息	56,019	49,519
持分法による投資損益(△は益)	14,408	△36,892
有価証券運用損益(△は益)	49,971	15,449
投資有価証券売却損益(△は益)	—	7,936
投資有価証券評価損益(△は益)	349	—
売上債権の増減額(△は増加)	240,019	92,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56,301	△122,704
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,442	11,576
その他	96,028	67,754
小計	1,381,323	1,079,094
利息及び配当金の受取額	49,145	52,085
利息の支払額	△55,674	△49,174
法人税等の支払額	△36,402	△593,998
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,338,391	488,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	70,000
有形固定資産の取得による支出	△253,975	△85,723
有形固定資産の売却による収入	70,239	200
投資有価証券の取得による支出	△201,905	△474,804
投資有価証券の売却による収入	—	337,520
定期預金の増減額(△は増加)	62,364	56,436
貸付けによる支出	△13,500	△7,000
貸付金の回収による収入	13,500	10,000
その他	2,246	2,188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321,029	△91,183
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	650,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△650,000
長期借入金の返済による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△93,032	△90,925
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△3,092
その他	△31,246	△32,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,462	△231,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	581,898	165,369
現金及び現金同等物の期首残高	2,622,678	2,802,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,204,576	2,967,901

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,089,984	1,156,159	511,936	3,758,081	815,099	4,573,181	—	4,573,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	128,582	—	132,782	116,797	249,579	(249,579)	—
計	2,094,184	1,284,742	511,936	3,890,863	931,897	4,822,760	(249,579)	4,573,181
セグメント利益	1,397	552,370	84,967	638,735	59,817	698,553	(5,920)	692,632

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,857,353	1,146,959	485,824	3,490,137	744,905	4,235,042	—	4,235,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	128,582	—	132,782	115,742	248,524	(248,524)	—
計	1,861,553	1,275,541	485,824	3,622,919	860,647	4,483,567	(248,524)	4,235,042
セグメント利益 又は損失(△)	△19,058	569,016	62,794	612,752	48,610	661,363	(9,304)	652,058

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。